

## 会 議 録

会議名 (審議会等名)		第 6 回(仮称)相模原市市民の森検討委員会				
事務局 (担当課)		経済部津久井経済観光課 電話 0 4 2 - 7 8 0 - 1 4 1 6 (直通)				
開催日時		平成 2 5 年 1 0 月 1 6 日 (水) 1 7 時 0 0 分 ~ 1 9 時 0 0 分				
開催場所		相模原市役所 2 階 第 1 特別会議室				
出席者	委員	8 人 (別紙のとおり)				
	その他	1 人 (別紙のとおり)				
	事務局	7 人 (津久井経済観光課総括副主幹、他 6 人)				
公開の可否		可	不可	一部不可	傍聴者数	3 人
公開不可・一部不可の場合は、その理由						
会議次第		1 開会 2 議事 導入施設の概要、ゾーニングの設定、アクセスや動線について 3 その他 4 閉会				

## 審 議 経 過

主な内容は次のとおり。( は委員長の発言、 は委員の発言、 はオブザーバーの発言、 は事務局(業務受託者含む)の発言)

### 1 開会

### 2 議事

事務局から資料をもとに説明を行った。

市民の森設置の目的について、水源地を守るということのウェイトが大きいと理解してよろしいか。

目的はそのとおりだが、最終的には市民の方々に親しんで頂けるような場所を目指している。

石老山は険しい場所が多いと聞いているが、実際はどうなのか。

現状ではかなり険しい場所になっているが、NPOの方を中心に、皆さんに協力して頂きながら整備を推進し、皆で作る市民の森を目指している。

水源地域の保全という、資源を守って森を保全するという意味合いが強いと感じるが、保全の方にウェイトを置いた計画なのか。

市民の方があまり接する機会がない水源林に接して、森林の大切さを知って頂くのが一番の目的となる。

キャンプやレジャーが中心というイメージとは異なるということ。

前回の委員会での議論のとおり、行政、市民、地域が一体となって推進することで、市民の関心や親しみ、理解を高めながら整備を進めることが必要。また、市民の森全域を短期間で整備するのは難しいので、まずは、始められる所から順番に着手していくことが望ましいと考えている。

また、管理のあり方として、指定管理制度等もあるので、これも協働型で進める方策を検討していくことが考えられる。

現在の計画では、散策路の整備は第2段階となっているが、大きな費用が掛かるわけでもないので、第1段階から整備したほうがよいのではないかと。まず既存のものを活用して市民の森のアドバルーンを挙げてよいのではないかと。

費用をかけずに進められる所は、すぐにでも始めた方がよい。それにより、全体的な計画も進むと思われる。

市としては、スケジュールについてはどのような展開を考えているのか。

さがみはら森林ビジョン実施計画では、遅くとも平成31年度までに着手するという表現になっているが、市民の森は市民と協働して整備していくという方向なので、なるべく早く着手できるように検討していきたいと考えている。

基本構想では、大枠の方向性だけ決めれば良いのか。

今年度議論していただくのは、個別具体的な計画ではなく、全体のイメージづくりということになる。基本的な立地条件を踏まえ、今後の具体的な計画策定時に大きな変更がないようにゾーニングするということでよい。しかし、整備の実施については、他の例でもあるように、計画策定と平行して進めていくということも検討していただきたい。構想をベースに整備に着手することもあり得るし、計画を具体化したうえで進める場合もあり得る。

第3段階で計画されている内容については、それまで着手しないのか。

市民の森としての整備は第3段階になるが、事前の準備は早期に進めていくという段取りで行っていききたい。

前回の資料で記載されていたゾーニングを変更した点はなにか。

これまではゾーニングとして市民参加ゾーンを設けていたが、市民の森全体を協働でつくっていくという考え方からゾーンとしては設けないこととした。また、計画対象地で遊びという機能を強調していくのは難しいかもしれないということから、冒険ゾーンをふれあいゾーンと名称を変えた。また、教育的な要素も重要だと考え、環境教育を行うゾーンを設けている。管理ゾーンの名称は、施設的なイメージが強いので、森林管理体験ゾーンと変更した。

管理ゾーンというと、平坦地に管理棟があるようなイメージが強いから、現地状況を踏まえて森林管理体験ゾーンとしたということか。

森林の管理もある種のレクリエーションとして、みんなで楽しんでもらいたいという考え方としている。前回の管理ゾーンは、管理施設のイメージだったので名称を変更している。

森林管理体験ゾーンの場所はどこか。

休養村キャンプ場奥のところになる。傾斜が比較的緩やかで、市民が入っていきやすいエリアで整備を進めていく計画となっている。

計画地は、全面が保安林になっている。施設をつくる際には、事前に許可申請等の手続きが必要になるので、注意してほしい。

次回委員会では、事前に資料を提示するという話もあったので、可能な限り事前に資料提示をお願いしたい。

以 上

## 第6回(仮称)相模原市市民の森検討委員出欠席名簿

### 【検討委員会委員】

	氏名	所属等	備考	出欠席
1	下村 彰男	東京大学 大学院 農学生命科学研究科 教授	委員長	出席
2	坂本 重光	津久井郡森林組合 専務理事	副委員長	出席
3	小野沢 良雄	津久井地区自治会連合会 会長		出席
4	平林 清	光が丘地区自治会連合会 会長		出席
5	金子 匡甫	東林地区自治会連合会 会長		出席
6	吉山 茂利	相模原市観光協会 理事		出席
7	滝口 清吾	公募委員		出席
8	畑 久男	公募委員		出席

### 【オブザーバー】

	氏名	所属等	備考	出欠席
1	石井 洋三	神奈川県 水源の森林部 部長		出席